



茅ヶ崎海岸のグランドプラン

コンセプト
「誰もが自然とのふれあいを育めるところ」

20060407 高橋私案 1

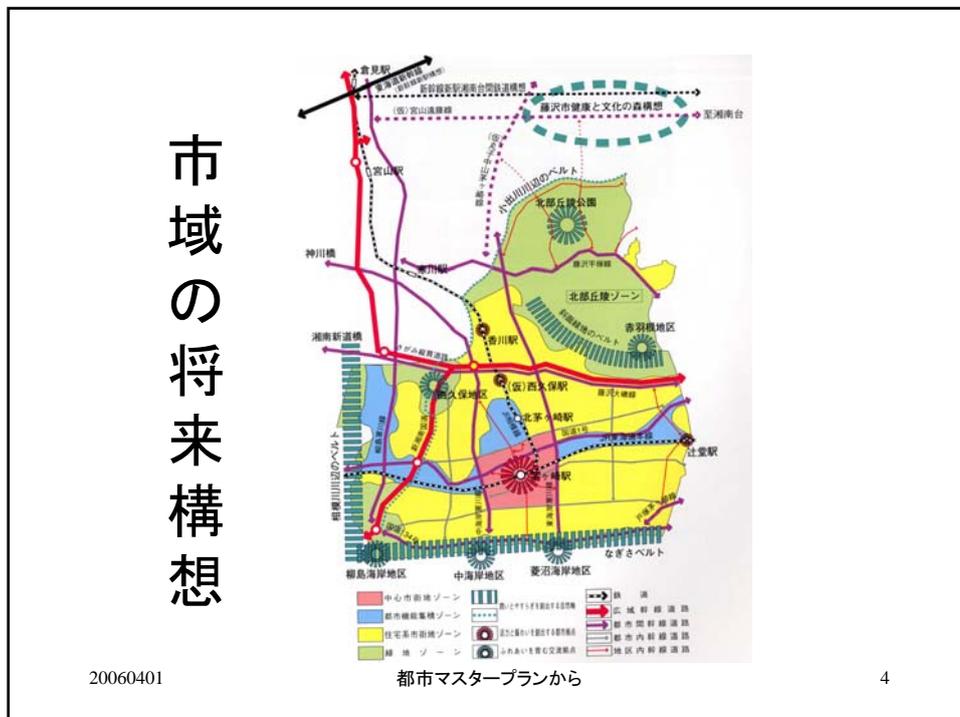
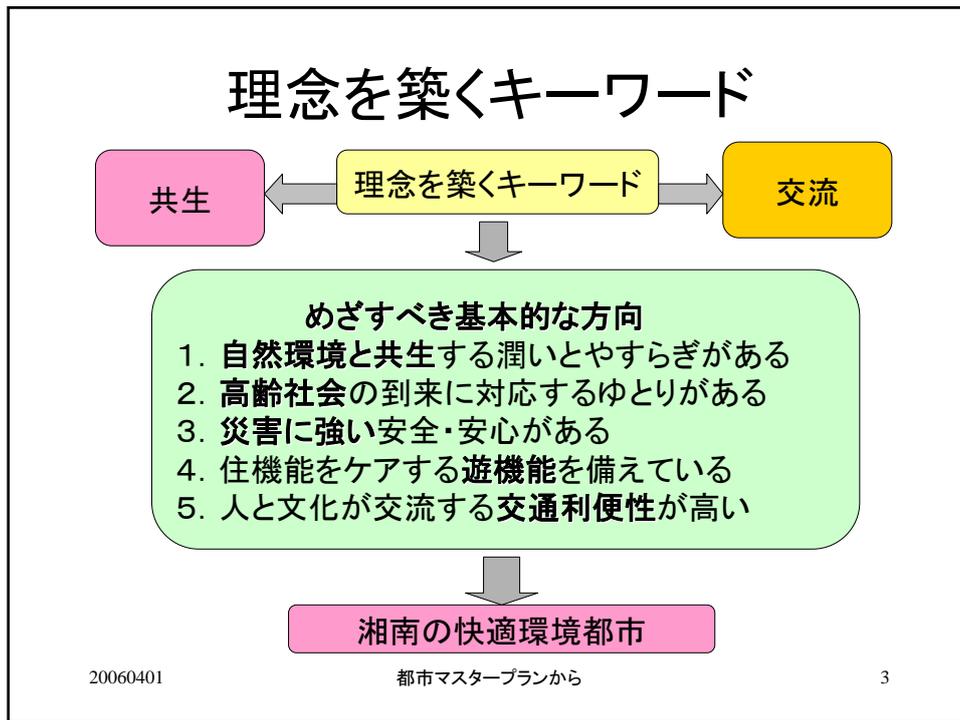
茅ヶ崎都市マスタープラン

目的
市民生活や産業、その他の諸活動が、快適で、効率よくかつ安全に営まれるように、都市の発展を計画的に誘導し、秩序ある市街地を形成することを目指す

めざすイメージ
海や緑の豊かな自然環境と良好な市街地形成のなかで、市民がはつらつと生活して、この湘南の地を様々なひとびとが訪れる

基本理念
共生 「自然環境・人・都市環境」の相互関係を構築していくこと 交流

20060401 都市マスタープランから 2



当該地区の将来構想

「潤いとやすらぎを創出する自然軸」
自然の保全と創造

①茅ヶ崎海岸と防砂林のなぎさベルト

キーワード: 豊かな自然, 21世紀の世代と共有する財産

これらが重複した将来構想となっている

「ふれあいを育む交流拠点」
スポーツやレクリエーションの機能強化

①中海岸の漁港を中心とした空間

キーワード: 高齢社会, 余暇, 健康

20060401

都市マスタープランから

5

当該地区は自然環境保全地

自然環境保全地

・茅ヶ崎海岸はすでに指定されている自然環境保全地域制度や保安林のほかに緑地保全地区, 風致地区などの手法を用いて, その保全に努める.

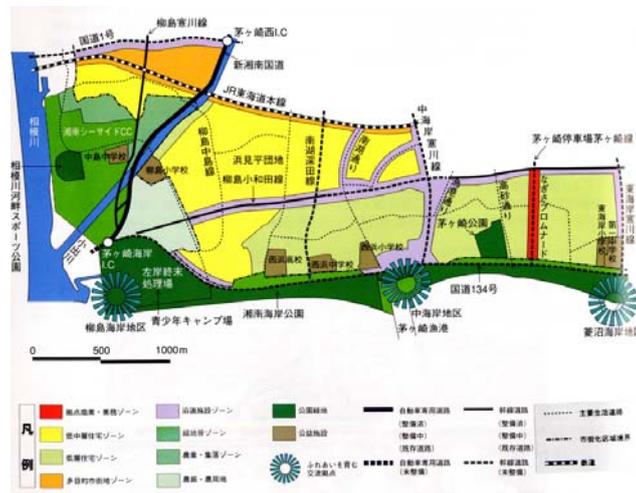
・交流や防災拠点としての役割を担う自然環境として, 広域的視野にたった活用を図る.

20060401

都市マスタープランから

6

南西部地域整備方針図



南西部地域のまちづくりの方向

多様な交流を育む開放的なウォーターフロントのまち

課題と現状

- 茅ヶ崎駅から放射状に延びる道路沿道は幅員が狭く、店舗、飲食店が立地しにくい
- 南北道路の不足などにより機能的な交通ネットワークが未形成
- 国道134号線の慢性的な渋滞
- 海岸と砂防林の緑は、来訪者の心に潤いとやすらぎを提供しており、海水浴、浜降り祭、花火大会など多様な交流拠点となっている
- 公園緑地がほとんどない

20060401

都市マスタープランから

8

南西部地域の将来像

多様な交流を育む開放的なウォーターフロントのまち



課題

- 交通体系の整備
- 防災機能の強化
- 沿道土地利用の高度化



解決策

交流エリア3地区の機能強化とアクセス強化を図る

20060401

都市マスタープランから

9

まちづくりの基本方針・私案

目的

50年後の市民(こどもから老人まで)に感謝される環境を残す

基本方針

- 豊かな自然を保全し、自然の摂理にあった土地利用とする (共生)(防災)
- 秩序ある適正な利用をはかる(交流)

20060408

高橋私案

10

